

Message 坊院長のつぶやき

「新病院建設始まる」

院長 四十坊 克也

みなさん、こんにちは。新年度が始まりました。今年は2月からの新型コロナウイルスで北海道には緊急事態宣言が出て、学校が休校になったり卒業式が中止になったりと大変な年度末でした。私も子供の卒業式を楽しみにしていましたが、保護者は参加中止となりガックリしてしまいました。みなさんの中にも同じような体験をされた方がいるかと思います。入学式も行わない報告があちこちに聞こえてきています。このふれあいが出る頃にはどれくらい新型コロナウイルスの流行は収まっているでしょうか。早く終息してくれることを望みます。

さて、いよいよ新病院の建設が始まります。3月初めに地鎮祭を予定していたのですが、新型コロナウイルスの影響で一旦延期し、3月末に少人数で執り行いました。私としても自分が病院長として初めて迎える地鎮祭は緊張しました。地鎮祭を終え工

が始まると来年には新病院で働いていることがさらに現実になってきました。このふれあいが出る頃には平岡の新しい土地で工事が始まっていることと思います。建設の様子はホームページでも逐次報告する予定です。

さて、新年度を迎え今年も病院に新しい職員が入りました。またフレッシュなメンバーが当院の一員となりました。これからの1年は次の新病院に向けての大事な基礎作りの1年になると考えています。病院の職員一人ひとりが新病院へ向けてさらに力を付けていかなければいけません。新入職員と一緒に新しい札幌南徳洲会病院を創りあげていきたいと思っています。

「ホスピスのこころ」を実現する新しい病院を創りあげるべく、今年度も職員一同で頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

Essay 工藤看護部長のやさしさビタミン日記

「春わくわく・夏秋もぐもぐ・冬ゆらゆら」

看護部長 工藤 昭子

雪が少ないと言ったら今年に入り何度かのドカ雪に見舞われましたが、道端の雪がみるみる溶け、ようやく春の匂いがしてきましたね。

当院は来年移転するため、いろんなイベントには「この病院では最後の…」という枕詞が付きまします。あ・ぐり〜んプロジェクトも今年4回目。すっかり当院の恒例行事になりました。今年も花壇の手入れから種や苗の植え付けを4月の終わりから5月にかけて行います。イチゴにミニトマト、ジャガイモに枝豆。水やりをしたり脇芽を摘んだりしながら大事に育てて参りました。昨年も初夏にはおいしいイチゴを摘み、秋には



じゃがバターをみんなで味わいました。今年も大勢の人に関わってもらって、楽しく作って収穫しようと計画しています。

そして今度の冬はちょっと考えていることがあります。真冬のある日、思い出に残るアイスキャンドル・ナイトを計画しています。ただ、ろうそくの火の揺らめきをみんなで見るだけ。そんな夜の過ごし方があってもいいですね。火を見るって落ち着きますし。あ、音楽もあるといいかな。いや、ワインもあるといいかな。ココアもいいな。とかとか。妄想が勝手に広がっていきます。

そしてこういう活動を手伝ってくださるボランティアの方を今年も募集しています。

NEW STAFF 新入職員紹介



齋藤 典子 医師
(内科・緩和ケア内科)

はじめまして。4月よりお世話になります、齋藤典子と申します。わたしは、植物を育てるのがとても下手です。たいてい枯れる、あるいは腐らせてしまいます。数年前すてきなガジュマルの木を購入したのですが、1年も経たずに根腐れし、義父より「木が可哀そうだ」と言われたのが未だに心のキズです。部屋の緑に癒されたいので、その後もいろいろ買っては気を配ってやっているつもりが、どれもひょろひょろで元気そうに見えません。こちらの病院では花や野菜を上手に育てる名人がいらっしやるようですので、仕事はもちろん植物の育て方もぜひ学ばせていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。